

令和4年 第2回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和4年11月25日(金) 午前9時30分から午前10時10分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 佐 藤 嘉 彦

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 柴 田 慈 幸

課長補佐 山 口 善 英

学校教育課 指導主事 黄川田 泰 幸

課長補佐 坂 井 峰 子

政策推進課長 川 崎 欣 広

係 長 沼 田 伸 吾

主 査 岡 本 麗 理

5 傍 聴 者 な し

6 挨拶

猿子町長： 令和4年度第2回雫石町総合教育会議の開会にあたり、教育委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席賜り厚く御礼申し上げます。また日頃、本町の教育行政に対しまして多大なるご尽力をいただき御礼申し上げます。

現在、学校でもコロナ感染者が出ている中で、今年はインフルエンザとの同時流行が懸念されているとのことです。消毒など対応されているかと思いますが、気を付けて過ごしていただきたい。また、教育関係において会計検査院の指摘がありました。これは平成28年度からの事務処理でのミスもあり、このことを真摯に受け止め町民の皆様方にもお詫びをしながら進めていかなければと思っております。

また西山小学校において非常に残念な事案が起きました。今後このような事案がないように教育行政の中で私も教育長と一緒に進めて参りたいと思います。

本日は事務事業の進捗状況についてご説明申し上げ、ご忌憚のないご意見を頂戴しながら本町の教育行政を今後も進めていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

佐藤教育長： 本日、教育に関して皆様方に私からご報告できるこのような時間とご指摘、ご指導いただける時間をいただきまして改めて感謝申し上げます。先程、町長からお話しいただきました西山小学校の事案ですが、報道にあったこと以外こちらから申し上げることはなかなかできませんが、この会議の後に教育委員会会議もありますので、そちらでも意見をいただきながら今後の教育行政に役立てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日の総合教育会議では今年度の教育施策について具体の要点を説明させていただきます。何卒ご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

7 議 題

(1) 事務事業の進捗状況について

【(1) について教育長より説明】

岩持委員： 吹奏楽教室から無形文化財芸能祭に至るまで、教育委員会の方々、休む暇がないほど毎週事業があり、コロナ禍でこれほどの行事をやっていたいただき、ご苦労様でした。先日、町長と一緒に日本一のアーチェリー射場を見学させていただきました。本当に素晴らしく、白百合学園の監督鈴木先生がおっしゃっていたようにぜひ来年春にはアメリカなど様々な国からメダリストがいらしてお墨付きをいただけたら、素晴らしい選手がどんどん来たくくなるような施設になるだろうと想像して参りました。アーチェリー選手達から愛されるような素晴らしい施設を作っていただきたいと思います。

吉田委員： 行事が段々復活して参りまして、とても良いことだと思いますし、中学生の娘が行事が出来たこと、思い出ができたことを大変喜んでい

ましたので、コロナがまた増えてきましたが様子を見ながら行事を進めていただきたいと思います。

中学校で不登校が多く、原因や理由はそれぞれ違うと思いますが、やはり一番近い存在の先生や保護者のところから入らないと、という部分もあると思うので、学校の先生方もお忙しいとは思いますが、なるべく早く学校に行けるようお願いできればと思います。

千葉委員： ICT教育について、国の施策が本格的にスタートしており、これは町長部局の支援、連携がなければ成果が出せないと感じております。例えばタブレットを全ての生徒さんに配付しましたが、これがずっと使えるわけではなく、おそらく5年後ぐらいには機種交換の話が出てくると思います。先程、教育長が話されたように自宅持ち帰りのw i - f i 環境整備などについては教育委員会だけでは、なかなか難しい所があります。幸い町長は非常に教育を重んじ予算をつけていただき大変ありがたく感謝しております。できれば今後とも町長部局と教育委員会が連携しながらICTを上手く使って子供達への教育環境を整備していただければと望んでおります。

菅原委員： 広報11月号を拝見しましたが雫石高校の特集が掲載され、進路と町の支援をメインに大きく取り上げていただき非常に分かりやすくまとまっていました。本人はもちろん親御さんにすると進路や町の支援、予算的な支援が気になる場所であり、今までも各場面で宣伝しているとは思いますが、あのようなすっきりした形で特集していただき良かったと思います。町内だけでは物足りないので可能であれば町外にも宣伝できればと思います。

それから、先日の無形文化財芸能祭の発表で子供達が約20分も踊り続け、素晴らしいと感じました。伝統芸能の伝承は、おそらく練習会では地域の大人皆が来て手取り足取り教え、来ない子供や喧嘩などに対処をしたり、人間関係を磨く場であり、地域が目、地域の方で子供達を育てる場であると感じます。伝統芸能の伝承だけではない、それ以上の効果があるのではないのでしょうか。各学校が統合する前から伝わるものであり、継続することが地域の方で子供を育てることにもつながると思うので、途切れないよう上手く行ってほしいという感想を持ちました。

副町長： 先程、町長からもご挨拶ありましたが平成28年スーパーエコスクール実証事業の公金の関係です。当時の担当課長ですので責任を感じています。当時、事業の変更契約をする時には必ず進行管理表を作成し予算、契約金額、一般財源、特定財源と管理し、最終的に成果が出てくるのですが反映されていなかったということの後から聞いてとても心苦しく、大変申し訳ございませんでした。

町長： 旧西根小学校の文化財について、おそらく近々許可を取って地域の方々や町議会議員とで見に行きますので、対策をしっかりとやっていただきたい。私もこれまで2回ほど見に行きました。棚を置き誰が来ても見られるような保存の仕方にしていただきたいと思います。

では、その他皆さんから何かありましたらお願いします。

岩持委員： 文化などを維持するのは大変だと思いますが、雫石町史がおおよそ昭和50年頃で終わっていて、その後約50年近く経ちます。しずくいし広報など様々なものはあると思いますが、冊子ではなく本にしていただけならありがたいと思います。やはりきちんと活字にして残さなければ、次の世代に正しく伝わらないのではと思います。まんがでよくわるシリーズの図書は子供達に評判で「岩手県北上市のひみつ」という図書も出ています。安心して子育てができる、働く場所がたくさんあるなど、1冊のひみつシリーズでその町のことが全て分かります。このシリーズは約200冊あり子供達もよく読みます。漫画ですので活字離れをしている子供達にも分かりやすく、自分の住む町のことを知ることができる。北上市では全子供達に渡して授業でも使っていると聞きました。雫石町教育委員会でも色々作っていますが何枚かの紙ですので、私はぜひ本という形で残していただけたらと提案いたします。

教育長： 雫石史談会が今年度、新しい組織でスタートしております。町史という大きな歴史的なものだけでなく、岩持委員が言われたような手軽に子供達が町を知る、歴史を知るといのはすごく大事なことです。参考にさせていただければと思います。

千葉委員： 教育長が言われるように史談会としても町の歴史に詳しい方がいらっやいますので知見を拝借するなど協力したいなと思いますし、子供達向けというのは漫画と同じように理解しやすいと思いますが、現在黄川田先生が中心になって進めていただいている「いいとこみつけプロジェクト」についても7項目のうち今年残りの3項目を製作中で、漫画家そのだつくしさんに入っていて非常にビジュアル的に作っていただいております、子供達に配付し活用していただければと思っております。

南畑スポーツエリア構想に関して、現在日本一の施設が整備されているという事で頼もしく思うわけですが、日本一に育てていただくには管理、運営が重要な要素だと思います。専門の方や情熱のある団体などに運営をお願いしながら、ぜひ雫石がアーチェリーの町だという方向に成長していければと思います。滝沢市のビックルーフなど最近の指定管理者は市民受け、町民受けするような管理をしているのが見受けられます。そういうところも参考にさせていただければと思います。

教育長： その通りだと思います。努力します。

8 そ の 他

政策推進課長： 議題についてご意見、ご質問いただきありがとうございます。参考にさせていただく部分、今後検討させていただく部分様々あると思いますので、よろしく願いいたします。また今後も様々な部分でご意見頂戴したいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

その他なければ、以上を持ちまして第2回雫石町総合教育会議を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。

9 閉 会